

・データを全部入れ、サーバーを繋ぐだけで仕事ができる機械です。良い点はソフトが新しくなったときに、オフィスのマシンの全部新しくしなければなりません、シンクライアントはサーバーを1台だけ新しくするだけで良くなります。その他インターネット関係では通販サイトもやっております。「えぞストア」という名で、北海道の特産品を抜粋して紹介しております。例えば新得町の木のおもちゃ・家具、大雪のトマトジュース等です。

趣味はサッカーをやっております。年齢的にあまり動けませんが、月1回位です。プロの試合は45分ですが、私達は15分ハーフ、タックルやスライディングはダメ等の特別ルールで楽しみながらやっております。隠れ趣味は自動車です。20歳位の時に自動車レースをやっておりました。当時の北海道はサーキットがなく、山の中を夜な夜な走った暗いスポーツでした。当時車はすごくお金がかかり、止めてしまったのですが、40・50歳になって余裕ができたなら、またやりたいと思っておりました。今40歳を過ぎましたが余裕はないですが、もう一度趣味の範囲でやってみたいと思っております。

\* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \*

### 【3分間卓話】



宮部光幸会員

9月19日に札幌市内の校長先生の会の総会で、基調講演をして参りました。

最近の札幌市内の小学生は、社会見学で「キタラ」へ必ず行くそうです。それを校長先生が説明を

するために、直接設計者から趣旨を聞きたいと云う事でした。私は各所に古い(明治以降ですが)デザインを埋め込みましたが、それを2時間ばかり話をしました。北海道で私達が誇れる、なおかつ子供達の教育にとって目標になる人の物語がそれらのデザインには込まれており、これを皆で語り、伝えていく事が必要ではないかと思っております。

明治時代の後半に、亀田町の出身の工藤富次郎という方がいました。師範学校を出て東京音楽学校(現芸大)で音楽を勉強しました。その後函館高女に戻り、大正2~6年まで学芸会をやりました。その学芸会は今私達が耳慣れている学芸会とは少し違い、娯楽のない時代ですので、学校で音楽会をやるようになりますと、全町民が集まる大きな音楽会になるのです。それを「アポロン音楽会」と名付け、4年間やりました。先生は功績をあげ、その後北海道内を廻っており4年後、札幌高女(北高の前身)から北海高女(札幌大谷の前身)そして北星・藤と、ようするにこの辺の全部の学校で音楽を教えていた方です。

1918年に北海道帝国大学が設立され、色々なところから学生がやってくるようになり、その中に植村泰二がいました。1920年札幌でグリークラブを創りましたが、その折に工藤が実用面のバックアップをしております。札幌の音楽を非常に高めた人なのです。又その10年後、工藤は山鼻カソリック教会の信者だったそうで、クリスマスにはコンサートが付きもので、弦楽四重奏を演奏させるために西高の学生を集め、自分の書斎でトレーニングしていたそうです。工藤元・伊福部薫・伊福部昭・早坂文雄の4人です。彼らは「新音楽連盟」を創り、音楽家・音楽

評論家・理論家の8人でグループ活動を始め、翌年「国際音楽の夕べ」を丸井記念館でやりました。曲目はラベル等当時の最先端、ほとんどで日本初演でやりました。その会は昭和9年頃国際音楽コンクール、チェルプニン賞に応募し、伊福部昭の「日本狂詩曲」が一席をとりました。伊福部昭は音楽の勉強を専門にやった訳ではありませんが、札幌の4人は国際を意識しておりました。又、その翌々年早坂モウインガルトナーを受賞しました。その基になっておりますのは1922年にできました大通西8丁目にできた独立教会(新渡戸稲道)でした。1920年第1次世界大戦の終戦処理までは、この世の中に国際概念はありませんでした。その中での国際的な受賞でしたので、新聞を賑わす事になりましたが、現代音楽はお金にはならず、貧乏暮しておりました。その頃「東宝」の社長となっていた植村泰二が早坂を連れてきて専属作曲家にしました。彼が作曲したのが皆さんご存知の「七人の侍」「羅生門」「生きる」等です。1954年に早坂は死にましたが、その後を引継ぎ伊福部昭が音楽をやりました。「ゴジラ」のシリーズ曲等です。

伊福部昭は現代音楽の始祖のような人で、それを辿りますと一柳慧、武満徹、高橋悠二等尊敬する方々があります。一方私達が元気付けられるこれらの方々にもかかわらず、札幌に「ゆかりのある方々」である認識はあまりありません。非常に輝かしい歴史を子供達に伝えてほしく、こんな話をしました。

\* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \* ~ \*

### 第918例会記録

10月10日(水) -晴-

司会：加我 稔幹事

ゲスト：金 甫珉さん(米山奨学生)

ピジター：札幌1名

出席報告：

例会日	会員数	出席数	欠席数	規定除外	M.U	出席率
10月10日	53	31	16	6	-	68.00%
10月3日	53	32	12	6	2	75.51%
9月26日の確定	53	29	14	6	4	70.21%

#### 会長・幹事報告

回覧 出席率の算出式の変更

ソフィさんのホームステイ先11月より佐々木宅

#### 会務報告

次週10/17は「法医学30年~死者の声をメスで聞く」

旭川医大名誉教授 塩野 寛氏



小さな秋  
鳴野貞隆さん撮影

#### ニコニコボックス

藤森敏昭さん：37回目の結婚記念日をお祝いしていただきありがとうございます。

大熊慧教さん：誕生日を祝っていただきありがとうございます。

若松 孝さん：誕生日を祝っていただきました。ありがとうございました。

笹山峻弘さん：祝いの花ありがとうございました。